

独立行政法人日本スポーツ振興センター 理事長
河野一郎 様

国立競技場将来構想有識者会議 建築 WG 座長
新国立競技場基本構想国際デザイン競技 審査委員長
安藤忠雄 様

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会 共同代表
大橋智子(大橋智子建築事務所)
上村千寿子(景観と住環境を考える全国ネットワーク)
酒井美和子(デザイナー・まちまち net)
清水伸子(一般社団法人グローバルコーディネーター)
多田君枝(『コンフォルト』編集長)
多見貞子(たてももの応援団)
日置圭子(地域文化企画コーディネーター・粋まち代表)
森桜(アートコーディネーター・森オフィス代表)
森まゆみ(作家・谷根千工房)
山本玲子(全国町並み保存連盟)
吉見千晶(住宅遺産トラスト)

公開質問状「新国立競技場の国際デザイン競技に関するご回答のお願い」

時下、ますますご清祥のことと存じます。

先日は、「新国立競技場再考の要望書」の質問事項にご回答いただきまして、ありがとうございました。

しかし、要望書へのご回答内容や、自民党による公開ヒアリングでの答弁、また審査委員のご発言をもってしても、私たちの疑問を払拭することはできませんでした。

私たちは、東京五輪が開催されるのであれば、大会とともに新国立競技場の計画についても、より多くの人々の賛同を得て進められることを願っています。そのためには、現在、多くの人々が感じているデザイン競技のプロセスへの疑問が晴れることが大切だと考えています。

つきましては、デザイン競技を主催された日本スポーツ振興センターと、有識者会議建築WG座長であり、デザイン競技審査委員長の安藤忠雄さんに下記18点のことをお尋ねします。

お手数ですが、2014年1月20日までにご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この質問状は、多くの賛同者や国民の疑問を背景にしておりますので、質問事項とご回答内容を当会のホームページなどで公開するとともに、マスコミにも告知させていただく予定です。

(1) 募集要項について

Q 01. 募集要項は、いつ、どなたが、どのようにして決めたのでしょうか？

「新国立競技場基本設計条件(案)」によると、募集要項を検討したのは建築WG(座長:安藤忠雄さん)と記されています。建築WGメンバー全員のお名前と専門分野、WGで果たされた役割をお教えてください。

また募集要項を決めたときの議事録を公開してください。

議事録がない場合はその理由をご説明の上、各メンバーの発言概要を文書でご回答ください。

Q 02. なぜ、建物の高さを 70m と設定したのでしょうか？

募集要項作成時には、20m の高さ制限があったにもかかわらず、70m とされた根拠をご説明ください。所在地の新宿区の都市計画審議会、景観審議会、区議会では、この規制緩和について厳しい指摘が出されています(※)。これらの指摘について、どのようにお考えでしょうか。なぜ、要項作成前に、新宿区の都市計画審議会、景観審議会、区議会に意見を求めなかったのでしょうか。

※新宿区都市計画審議会(2013/3/27)

デザインの公募が先で、都市計画の変更が後というのは、問題なのではないか。

※新宿区景観審議会(2013/3/18)

今までの新宿区の努力で高さ制限をがんばってきたのに、なぜ、一気に80mまで緩和なのか。景観審議会としていいというわけにはいかない。

Q 03. なぜ、敷地を現国立競技場の 1.5 倍以上の 113,000 m²に拡大したのでしょうか？

現在の国立競技場のみならず、隣接する明治公園、日本青年館、都営霞ヶ丘アパートの敷地と、その間を通る道路まで廃止する計画ですが、どなたがどのような検討をした結果、この方針が決められたのでしょうか？

Q 04. なぜ、予算が 1,300 億円なのでしょうか？

予算設定の際、参考にされたという日産スタジアムが約 600 億円、またロンドン五輪のメインスタジアムは約 800 億円(4 億 8,600 万英ポンド)です。また、要望書へのご回答では、日本スポーツ振興センターは、2011 年度に現在の国立競技場の耐震改修基本計画を実施され、777 億円の試算が出たことを教えてくださいました。そして、この試算をもとに改修は「建替えに近い 700 億円程度かかることが判明し、建替えを決断」したと報道されています(『日本経済新聞』2012/7/27)。これらを考え合わせると、なぜ、参考額の 600-800 億円をはるかに越える 1,300 億円を予算として設定されたのでしょうか？その根拠をお教えてください。

Q 05. 防災、交通、避難計画、環境への影響を検討されましたか？

今回のように大規模な計画の場合、募集要項作成時に都市的スケールの検討が必要不可欠です。巨大な建物により空地が失われますので、地域の防災計画について、またイベント時の80,000人の観客と車の誘導と処理、緊急時の避難計画、さらにはビル風やヒートアイランド現象など周辺環境に与える影響についての検討が必要です。こうした都市的な課題を各分野の専門家にお訊きになりましたか？お訊きになった場合は、どなたがどのような検討をされたのか、お教えてください。

Q 06. なぜ、募集要項で、敷地の特徴である風致地区や歴史性について説明されていないのでしょうか？

なぜ、現在の国立競技場の説明と図面が紹介されていないのでしょうか？

Q 07. なぜ、収容人数を 80,000 人とし、全席常設にしたのでしょうか？

国際オリンピック委員会が定める陸上競技場の基準は 60,000 人です。またロンドン五輪のメインスタジアムでは、80,000 人のうち 3 分の 2 以上の 55,000 人分が仮設席でした。8 万人分の席をすべて常設でつくらなくてはいけない必然性をお教えてください。

Q 08. なぜ、開閉式の屋根が必要なのでしょうか？

可動式の屋根をつけると建設費に加え、保守点検費、空調や照明の設備費・運転費が莫大になります。さらに大地震などの自然災害で屋根が落下する危険性があり、避難所としての機能を失います。積雪時や強風時には屋根は開けてイベントを中止するそうですが、そうであれば、そもそも屋根をかける必要があるのでしょうか？屋根をかけることでコンサート等の文化イベントにより、年間 10 億円の収益が上がる想定されていますが、上記の建設費や維持費、リスクを考え合わせるととも見合うものとは考えられません。これらのことを募集要項作成のときに検討されましたか？可動式屋根をつけなくてはならない必然性をお教えてください。

(2) 審査について

Q 09. 審査委員のメンバーは、どなたが決められたのでしょうか？

なぜ、審査委員に、都市計画、防災、交通、環境の専門家が入っていないのでしょうか？

Q 10. なぜ、リチャード・ロジャース氏とノーマン・フォスター氏の不参加を事前に知っていたのにもかかわらず、彼らに審査をお願いしたのでしょうか？

お2人には、どの段階でどなたがどのように応募作品を説明し、彼らからはどのような講評を得たのでしょうか？そしてそれは、審査にどのように反映されたのでしょうか？お2人の投票内容もお教えてください。

Q 11. 各審査委員は、審査でどのような発言をされたのでしょうか？

発言者と発言内容、投票結果がわかる議事録を公開してください。議事録がない場合は、その理由をご説明の上、自民党に提出された審査経過報告書を公開してください。建物の規模、建設費と維持費、周辺環境との調和や歴史の連続性について、どなたがどのような発言をされたのか、お教えてください。

Q 12. なぜ、ザハ・ハデイド氏の案が最優秀賞になったのでしょうか？

ザハ・ハデイド氏の案は、当初から敷地を大きくはみだしていたので、そもそも募集要項を満たしていません。また予算をはるかに越えることは建築の専門家であれば、容易に予測がつかます。それにもかかわらず、なぜ、安藤忠雄さんは、ザハ・ハデイド氏の案を選んだのでしょうか？その理由をお教えてください。

Q 13. 日本スポーツ振興センターは、審査委員とどのような契約を結んだのでしょうか？

欠席した英国のお2人をふくめ、各審査委員との契約内容をお教えてください。契約期間と報酬金額をお示ください。

(3) 現在の縮小案について

Q 14. 現在の縮小案は、当選案とはまったく異なるものになっています。ここまで大幅に変わってしまったら、審査で選んだ当選案がそもそもおかしかったということになりませんか？審査そのものをやり直した方がいいという声が多く上がっていますが、お考えをお示ください。

Q 15. 縮小案の作成は、日建設計を中心とする日本側の設計チームによって行われたはずですが、ザハ・ハデイド氏との調整は、どなたがどのように行ったのでしょうか？

Q 16. 現在の縮小案を実行し、1,852億円以上かかった場合、どなたが超過分の費用を負担されるのでしょうか？またその責任はどなたが取られるのでしょうか？

縮小案では、延床面積が約75%に縮小され、建設費は3,000億円の約60%の1,852億円になったと発表されましたが、この縮小率の違いからも明らかのように、1,852億円ではとても納まらないと予測する専門家が数多くいます。

(4) デザイン監修者について

Q 17. 日本スポーツ振興センターは、ザハ・ハデイド氏とどのような契約を結んでいるのでしょうか？

自民党に提出された契約書を公開してください。ザハ・ハデイド氏には13億円が支払われるそうですが、これはどのような名目のお金なのでしょうか？デザインを変更した場合の許諾費用とザハ・ハデイド案を採用しなかった場合の違約金額、契約期間をお教えてください。

(5) 市民の参加について

Q 18. 安藤忠雄さんは、デザイン競技開催にあたり、下記のメッセージを公開されています。「プロセスには、市民誰もが参加できるようにしたい。専門家と一緒にみんなで作っていき。『建物』ではなく『コミュニケーション』。新国立競技場の計画のプロセスに市民が参加できて、民意を反映できるのなら、素晴らしいことです。ぜひ、その具体的な参加方法をお教えてください。

私たちもできるかぎりのご協力をするを、お約束します。